

# 令和7年度病害虫防除技術情報第18号

令和8年3月24日  
三重県病害虫防除所

ムギ類赤かび病の防除は適期の複数回(2回以上)が基本です。  
1回目の防除は開花始めから開花盛期に行いましょう！

1 対象作物：ムギ類

2 対象病害虫名：ムギ類赤かび病

3 生育状況と今後の予測

(1)本年のムギ類の生育は、平年より4日程度早い状況です。

(2)11月15日播種の小麦の生育の見込み(3月19日現在:麦生育予測システムによる)は以下の通りです。 ※但し、今後の気温等により変動することがあります。

予測地点	品種	出穂期	開花期
松阪市嬉野川北町	あやひかり	4月8日	4月18日
伊賀市森寺	さとのそら	4月17日	4月26日

4 防除対策

(1)防除は2回以上の複数回を基本とします。

(2)1回目の防除適期は開花始めから開花盛期で、2回目の防除は1回目の7～10日後に行います。必ず圃場で開花始めを確認し、適期に薬剤散布するようにしてください。適期散布することでかび毒のDON濃度を低減することが出来ます。

(3)開花始めは通常、出穂の7～10日後ですが今後の気温によって前後します。

(4)開花前の薬剤散布は防除効果が劣ります。また、開花後の経過日数が長くなると防除効果は低下します。

(5)薬剤耐性菌の発達を防ぐため、同一系統の薬剤(FRAC コードが同じもの)は年1回の使用としましょう。

(6)薬剤は農林水産省の「農薬登録情報提供システム」

(<https://pesticide.maff.go.jp/>)で検索することができます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。